

設計課題「保育所のある複合施設」

設計条件

この課題は、ある都市の市街地(駅から約100mの位置にある敷地)において、子どもをあずけて通勤する親の利便性に配慮した「保育所」と地域住民への各種情報サービスの提供等を目的とする「情報センター」とからなる複合施設を計画するものである。

なお、この施設には、来館者及び駅を利用する通勤・通学者のための「駐輪場」を屋内に設けるものとする。

計画に当たっては、特に次のことが求められている。

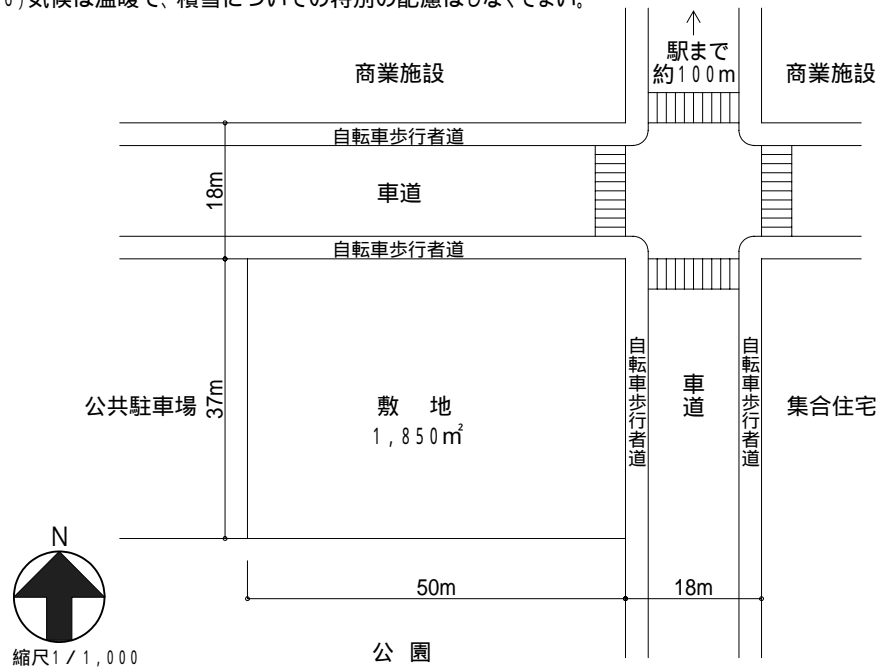
保育所部門、情報センター部門及び駐輪場部門の異なる機能を適切にゾーニングした計画とするとともに、各部門の動線に配慮した計画とする。

公園等の敷地周辺の環境に配慮した計画とするとともに、良好な保育の環境を確保した計画とする。

設計に当たっては、この設計課題で示す設計条件によるものとし、児童福祉法に関する規定については、考慮しなくてよいものとする。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
北側 —— 道路(幅員18m)を挟んで、商業施設がある。
東側 —— 道路(幅員18m)を挟んで、集合住宅がある。
南側 —— 緑豊かな公園があり、景観は良好である。
西側 —— 公共駐車場がある。
- 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、自転車歩行者道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、第二種住居地域及び防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は80%(特定行政庁が指定した角地における加算等を含む。)、容積率の限度は300%である。なお、日影についての特別な考慮はしなくてよい。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好である。
- 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- ラーメン構造による鉄筋コンクリート造、地下1階、地上3階建の1棟の建築物とする。
- 地下1階を除く床面積の合計は、2,200㎡以上、2,700㎡以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段、屋外テラス等は、床面積に算入しないものとする。
- 主要な階段及びスロープについては、次のとおりとする。
階段は、幅を1.4m以上、けあげの寸法を16cm以下、踏面の寸法を30cm以上とする。
スロープは、幅を1.5m以上、勾配を $\frac{1}{12}$ 以下とする。
- 設備については、次のとおりとする。
空気調和設備は、単一ダクト方式と個別方式とを併用する。
エレベーターは、次のとおり情報センター部門に設ける。
イ. 来館者用 —— 乗用1基(ロープ式・13人乗、かごの床面積は2.09㎡以上)
ロ. サービス用 —— 人荷用1基(ロープ式・13人乗、かごの床面積は2.09㎡以上)

3. その他の施設等

- 屋外遊技場(保育所の幼児の遊び場をいう。)は、次のとおり計画する。
屋外遊技場は、地上に設けるものとし、まとまったスペース(直径8mの円が1つ以上入るスペースとする。)で300㎡以上(ピロティの部分及び上部に屋根、ひさし等がある部分は算入しない。)とする。
保育室との動線に配慮した計画とする。
敷地内において、屋外遊技場から公園へアプローチできるようにする。
砂場、ぶらんこ、鉄棒、足洗場、公園側の門扉、その他を設置する。
- 駐車場は、地上に平面駐車とし、車いす使用者用として2台分、サービス用として2台分を設ける。
なお、車いす使用者用の駐車場は、幅を3.5m以上とし、情報センター部門の出入口からの距離ができるだけ短くなる位置に設ける。
また、来館者用及び職員用の駐車場については、近隣の公共駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- 建築物の屋上は、都市環境に配慮して、積極的に緑化を図るものとする。
- ごみ置場(約6㎡)を設ける。
- 敷地内の通路に設けるスロープは、幅を1.5m以上、勾配を $\frac{1}{15}$ 以下とする。
- (1)~(5)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

試験場	受験番号	氏名
	□□-□□□□□□	

4. 所要室

下表の室は、すべて計画する。なお、設置階が指定された所要室以外の室は、地上1~3階に適宜計画する。

部門	室名	床面積	特記事項
保育所	保育所部門は、地上1階及び2階に設ける。 ・保育所の入所定員は50人、受け入れ対象は0~5歳児とし、保育士の数は10人とする。 ・乳児室、ほふく室、保育室又は遊戯室を2階に設ける場合には、避難用の屋外滑り台を設ける。 ・情報センター部門へは、幼児が室内履きでアクセスができる計画とする。		
	乳児室	約 20㎡	・0歳児を対象とし、沐浴室、調乳室を設ける。
	ほふく室	約 20㎡	・主に1歳児を対象とする。
	保育室	計約 160㎡	・幼児(2~5歳児)用として年齢ごとに1室(約40㎡)計4室を設ける。 ・屋外遊技場との動線に配慮した計画とする。
	幼児用便所	適宜	・幼児用シャワー室を設ける。
	遊戯室	約 100㎡	・ステージを設ける。 ・吹抜けを設ける。
	遊戯室用倉庫	適宜	
	食事室	約 40㎡	・幼児が利用する。
	調理室	約 20㎡	・食事室に隣接させる。
	保育士室	約 20㎡	
情報センター	玄関	適宜	・保育所部門専用とし、乳幼児の保護者が送り迎えを行う。 ・下足箱、ベビーカー置場を設ける。
	保育所事務室	約 50㎡	・保育所部門の運営・管理を行う。 ・受付、応接コーナーを設け、子育ての相談等に対応する。 ・所長の執務スペースを設ける。
	医務室	約 10㎡	・保育所事務室に隣接させる。
	更衣室	適宜	・男性用、女性用として各1室を設ける。
	便所(1)	適宜	・車いす使用者に対応した多機能な便所を併設する。
	倉庫(1)	適宜	
	図書室	約 350㎡	・幼児用閲覧室、レファランスクーナー、開架式書架、一般用閲覧コーナー及び受付カウンターを設ける。
	図書作業室	約 100㎡	・開架式書庫を兼ねる。
	情報検索ギャラリー	約 180㎡	・インターネットを利用して、各種情報を検索するためのPC端末スペースを15席設ける。 ・DVD、ビデオ等の視聴用として5ブース(約2㎡/1ブース)及び貸出コーナーを設ける。 ・屋外遊技場を見渡せる位置に休憩コーナー及び自動販売機を設ける。
	集会室	計約 110㎡	・サークル活動、各種講義、上映会等に利用する。 ・2室(約70㎡を1室、約40㎡を1室)を設ける。
管理事務室	約 50㎡	・情報センター部門の運営及び施設全体の管理を行う。 ・受付、応接コーナーを設ける。 ・センター長の執務コーナーを設ける。	
駐輪場部門	エントランスホール	適宜	・風除室を設ける。 ・吹抜けを設ける。
	エレベーターホール	適宜	
	湯沸室	適宜	
	便所(2)	適宜	・車いす使用者に対応した多機能な便所を併設する。
	倉庫(2)	適宜	
駐輪場	200㎡以上	・地上1階の室内に設ける。 ・駐輪方式は2段式(1基当たり2台収納)とし、1基当たりの設置スペースは0.9m x 1.8m程度、通路の有効幅は1.8m以上とする。 ・月極有料とし、一部(30台)は保育所部門利用者の専用部分とする。 ・開放感があり、採光に配慮した計画とする。	
管理人室	適宜		
その他	電気・機械室	約 200㎡	・地下1階に設け、ドライエリアを付設する。

(注)上記の床面積の合計(地下1階及び適宜を除く。)は、約1,430㎡となる。

要求図面等

設計製図答案用紙の定められた枠内(寸法線は枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 1/200	建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度)を記入する。室名等を記入する。 ダクトスペース、パイプシャフトの位置を図示し、それぞれD、S、P、Sと記入する。 1階平面図兼配置図には、次のものを図示する。
(2) 2階平面図 1/200	イ. 断面図の切断位置 ロ. 建築物の主要部門の各出入口 ハ. 地下1階部分(位置を図示し、床面積を記入する。)
(3) 3階平面図 1/200	ニ. ドライエリアの位置 ホ. 駐輪場(出入口を図示し、台数を記入する。) ヘ. 駐輪場(通路及び保育所部門利用者の専用部分を図示し、専用部分の台数を記入する。) ト. ごみ置場 チ. 通路、植栽等 乳児室、ほふく室、保育室、遊戯室、保育所事務室、図書室、図書作業室、情報検索ギャラリー、集会室、管理事務室、駐輪場の床面積を記入する。 屋外遊技場には、面積を記入し、砂場、ぶらんこ、鉄棒、足洗場、公園側の門扉、その他を図示する。 建築物の屋上を緑化した部分には、植栽を図示する。 直下階の屋根、ひさし等となる部分を図示する。 吹抜けとなる部分を図示する。
(4) 断面図 1/200	切断位置は、建築物の全体の立体構成(地上1~3階)及び屋根形状がわかる断面とする。なお、地下部分については図示しなくてよい。 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高、主要な室名を記入する。 はり及びスラブの断面を図示する。

2. 面積表

1~3階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。